

2016年12月5日  
株式会社みずほ銀行



～6年連続受賞～

## FinTechを活用したモバイルサービス「MCPC award 2016 特別賞」を受賞

株式会社みずほ銀行(頭取:林 信秀)は、2016年12月2日に開催されました「MCPC award 2016」において「特別賞」を受賞し、全業界で唯一、6年連続の受賞となりました。「MCPC award 2016」は、総務省や経済産業省等が後援しております。

当行では、新技術の積極的な活用、スタートアップ企業との具体的な協業を通じて、邦銀初となるサービスや実証実験を数多く実施しています。今回の受賞は、FinTechを活用した革新的なスマートフォン向けサービスの提供のみならず、実際にお客さまに利用されていること自体を高く評価されたことによるものです。

### <FinTechを活用したサービス・実証実験の一例>

	サービス・実証実験	概要
1	一生通帳	入金明細を一生閲覧可能なサービス。2016年4月、サービス開始。マネーツリー株式会社が提供中の一生通帳を、当行スマートフォン向けみずほダイレクトアプリと連携し、提供しています。
2	SMART FOLIO	資産運用ロボによるアドバイスサービス。最新の金融技術を活用し、WEB上で、お客さまのリスク許容度をふまえた投資信託のポートフォリオを無料で提供。2015年10月にサービス開始。
3	CUI(※)	Amazon Echo(日本未発売)と当行スマートフォン向けアプリを連携させ、音声による操作で、預金口座の残高照会等を実施できるプロトタイプを開発。今夏、米国シリコンバレーで実証実験を実施。

(※) Conversational User Interface の略。AIを活用し、対話形式で金融サービスを提供する形態

当行は、引き続き FinTech を活用し、お客さまが「いつでも」、「どこでも」、「べんりに」、「たのしく」、金融サービスをご利用いただけるよう、新しいサービスの実現に向けて、積極的に取り組んでいきます。

#### \* MCPCについて

- (1) MCPC(モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長:安田靖彦)は、業界の枠を越えてモバイルコンピューティング、IoT/M2M システムを普及促進することを目的とし、1997年に発足した任意団体。端末インターフェースガイドラインおよび、Bluetooth など多数の標準化作業をはじめ、「セキュリティ対策ガイド」発行、「モバイルシステム技術検定」実施などを通して、モバイル、IoT/M2M 市場の拡大に貢献。
- (2) MCPC ではこれら活動に加えて、モバイルコンピューティングの導入により高度なシステムを構築し、顕著な成果をあげている企業や団体を表彰する日本で初めての試みとして、「MCPC award」を2003年度より開催。モバイルシステム、M2M/IoT 技術の導入により「業務効率化」「コスト削減」「売上拡大」「業績向上」や「モバイル、M2M/IoT 技術の効果的活用」などの顕著な成果をあげている企業や学校・団体・自治体の事例を募集・顕彰し、今後導入を検討しているユーザの手本となるよう紹介。

受賞の様子(2016年12月2日)



以上